

特  
3  
2378  
256

壹

世小行つて草紙のめど源氏業花をよめとて  
 女官の撰れり馬或半也のむづり免漢の言をよ  
 和はるまわら世女文字筆ふあめりる電歌のそふ梅の香を  
 つく今も後字文の對着よりふる意源のほの海轉る代の  
 教ひのふと漢倭の故吏をさるぬ文章草中ては屏風ふら  
 うと春の初ふある 天保十二年寅子孟春 美因垣笑顔



此系式部  
 兼輔の子孫中右馬佐宣孝ふ  
 姉して大武之位とう上東門院あつて  
 は式部とらひ源氏物語の中のをあふ巻と  
 傳ふふとこまあはたのあふは名とらふり又初  
 義式部とらひが平名あはるるはとそ義の甘の



あふり  
 けり  
 ちり  
 られ  
 とら

小野小町  
 出陣の郡司小野良実の娘  
 又當澄が女ともいふ容貌絶  
 ちて絶世の美人おののほろおの  
 文徳のころさういける業平康秀  
 るどくおとさうせし古今集後撰集



ホムあり

俳仙千代女  
 加賀の國松任の人  
 いとけりたより俳諧お妙をえり  
 後尼とありてまふ園といふ  
 又画とよき世の女女  
 年のうらふ白の先みや梅はる



清小納言  
 松の草紙の作者  
 清原の元補の女  
 大納言の成とを  
 上と合中時を  
 上と合中時を  
 上と合中時を



白拍子佛御前  
 舞の上は妙音あててお人を射る  
 稀代の美人清盛の恋と  
 依王依女これがお退せらる  
 依女おふくられぬ後藤へあつ依王  
 依女お羅をこびて共お尼とありて行ひます世



常盤御前

この世に九で物のりんの雅士  
字をえたるの射が  
初めえたるのうそ  
みるゆとのよりこそ  
のま母せより  
とりこそ世まの  
うろとあてあろ  
びり時こそたえ  
るふひるた  
ひんさる  
およりて  
は物の  
かぐらんゆけ



この世に九で物のりんの雅士  
字をえたるの射が  
初めえたるのうそ  
みるゆとのよりこそ  
のま母せより  
とりこそ世まの  
うろとあてあろ  
びり時こそたえ  
るふひるた  
ひんさる  
およりて  
は物の  
かぐらんゆけ  
この世に九で物のりんの雅士  
字をえたるの射が  
初めえたるのうそ  
みるゆとのよりこそ  
のま母せより  
とりこそ世まの  
うろとあてあろ  
びり時こそたえ  
るふひるた  
ひんさる  
およりて  
は物の  
かぐらんゆけ

越西施

越の山のおさげの  
かこのおさげの  
とら西のあつる  
とこのいさる  
物とるれりく  
王こそはえさる



越の山のおさげの  
かこのおさげの  
とら西のあつる  
とこのいさる  
物とるれりく  
王こそはえさる  
とこのいさる  
物とるれりく  
王こそはえさる  
とこのいさる  
物とるれりく  
王こそはえさる



和久

**武内宿禰**  
神功皇后  
あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御

あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御

あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御



**常山趙雲**  
あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御

あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御

**常山趙雲**

あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御



あつらひ百子のついでに神功皇后の御成敗の御  
御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御成敗の御

源牛若丸

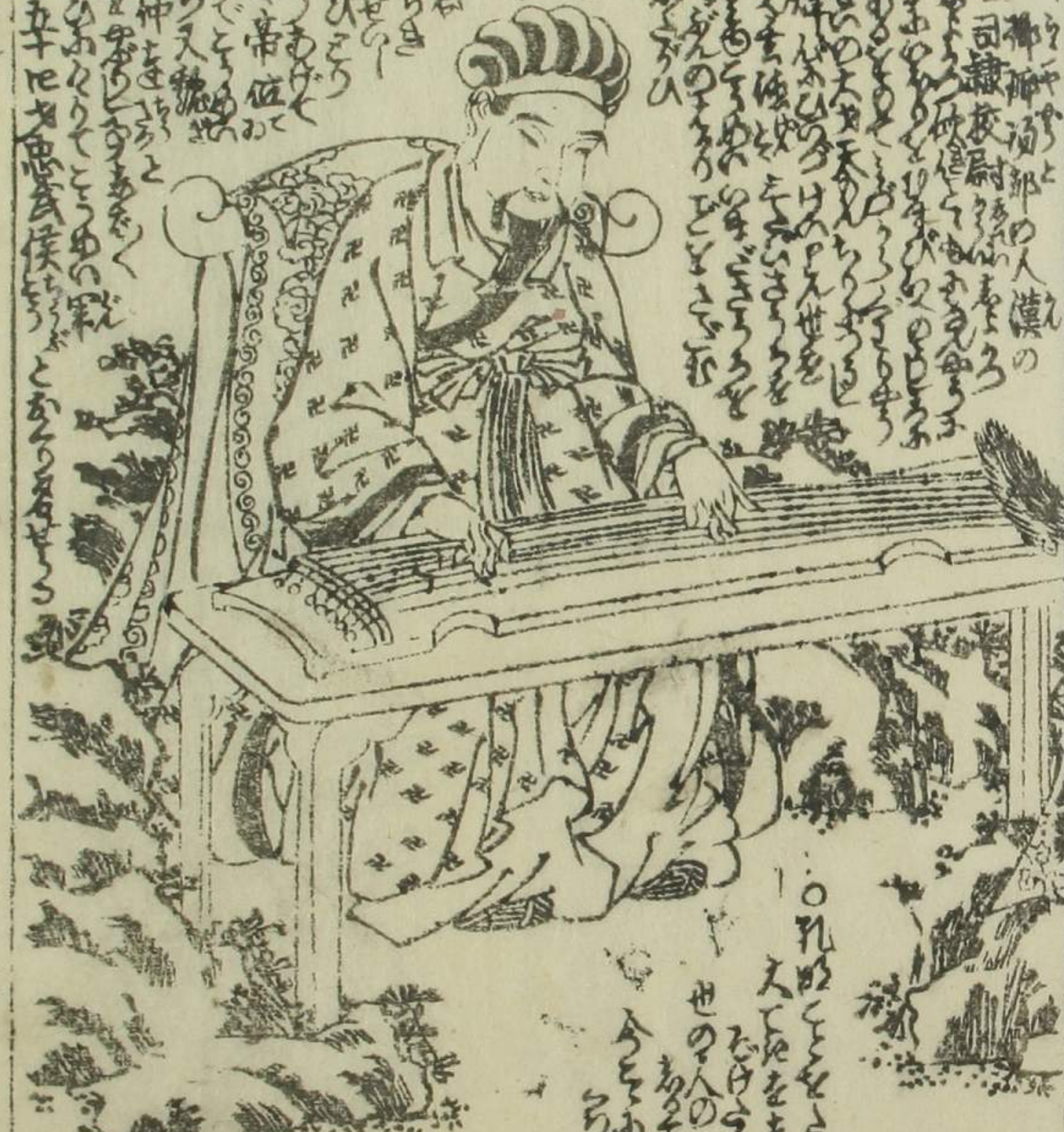
清和源氏の山と九郎... 源牛若丸の事... 清和源氏の山と九郎... 源牛若丸の事... 清和源氏の山と九郎... 源牛若丸の事...



牛若丸... 源牛若丸の事... 牛若丸... 源牛若丸の事...

諸葛孔明

孔明の事... 諸葛孔明の事... 孔明の事... 諸葛孔明の事...

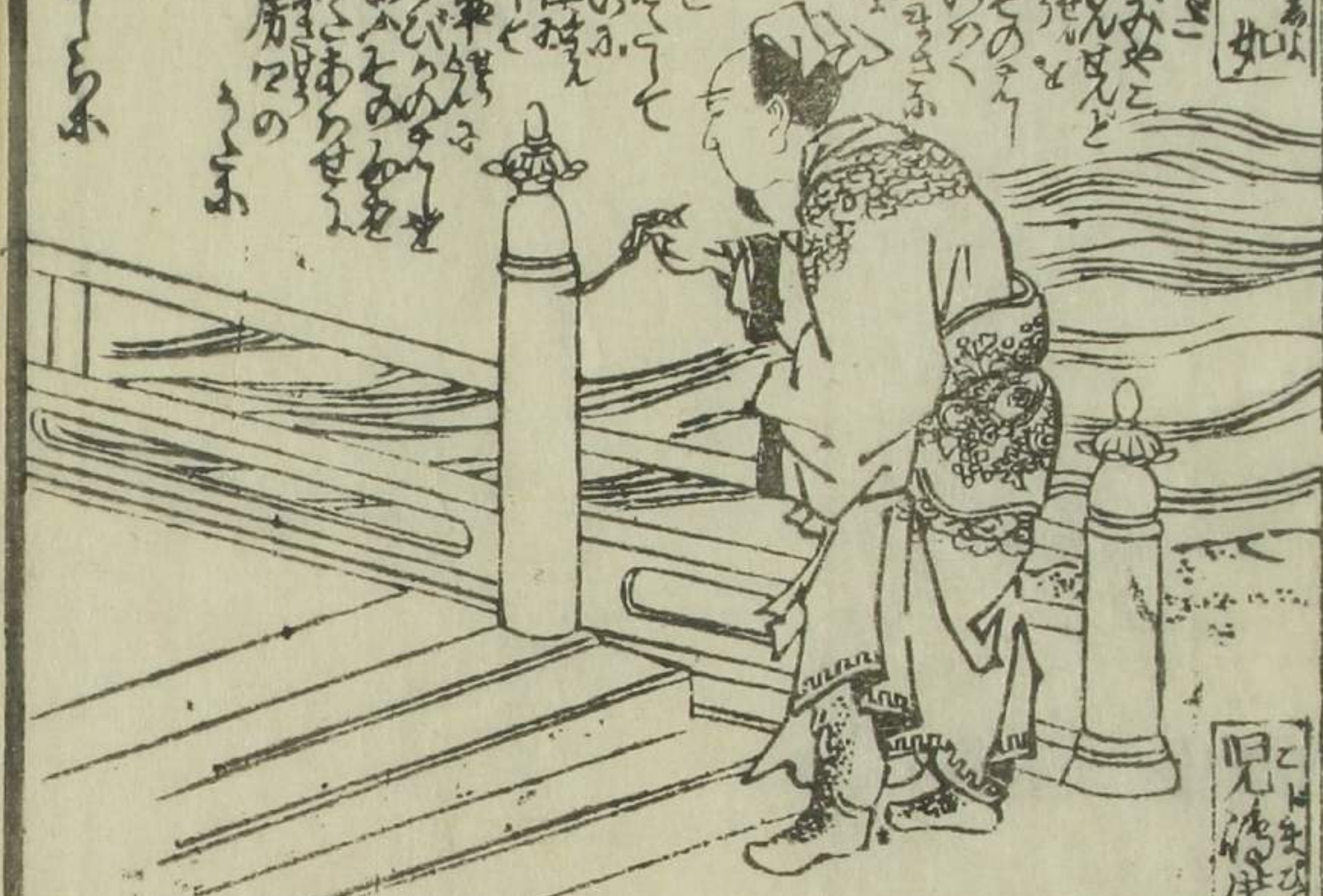


孔明の事... 諸葛孔明の事... 孔明の事... 諸葛孔明の事...

ホケム

司馬相如

その月のとき  
 少年のとき  
 昇仙のとき  
 四野のとき  
 六百年のとき  
 大のとき  
 文のとき  
 六百年のとき  
 大のとき



見徳備後守

神威の  
 時非無范  
 大莫空勾踐  
 時非無范

加三つ七  
 の人の  
 くのま  
 ケ



もの  
 の  
 の  
 の  
 の  
 の



牡丹花の青柏

具和天皇の御代に大和に青柏の樹ありて其の葉を摘みて乾し之を煮て服す

牛の乳を搾りて之を煮て服すは牛の乳を搾りて之を煮て服すは牛の乳を搾りて之を煮て服す



大和七年に月宵相傳の書に牛五

黒牛の訓



黒牛の訓と云ふは牛の黒い色を指すなりと云ふは牛の黒い色を指すなりと云ふは牛の黒い色を指すなり

黒牡丹と云ふ



劉玄德

漢の中山靖王の太子劉備

けあろふそ村はあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて  
けあろふのつひもあつちをめぐりて



はたてあえん身四月  
木高きとも仲つたうとて  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ

佐々木高綱

はたてあえん身四月  
木高きとも仲つたうとて  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ  
のりよりあるとつ



信州東山堂看板之略圖

此堂之由來也  
 堂主信州東山人也  
 其才力过人  
 所作之畫  
 妙不可言  
 今將其略圖  
 示於世  
 庶幾  
 人知  
 其妙  
 也

御免本家

信州東山堂謹製



東山堂

御用藥所	本店	信州東山堂	御免本家
諸國	同店	信州東山堂	御免本家
京都	信州東山堂	御免本家	御免本家
大坂	信州東山堂	御免本家	御免本家
...	...	...	...

笑顔作 國芳画

笑顔作  
 國芳画  
 此堂之由來也  
 堂主信州東山人也  
 其才力过人  
 所作之畫  
 妙不可言  
 今將其略圖  
 示於世  
 庶幾  
 人知  
 其妙  
 也



和漢  
一雙  
舞臺  
風



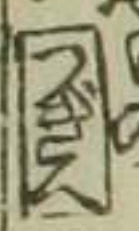
下

板屋本山

鎮西八郎為朝

あつりの八甲父の義家  
つとめたり知らずする  
つとめたり七天みせん  
つとめたりこれぞ  
つとめたり上りの  
つとめたりたむあ  
つとめたりすまひあれ  
つとめたりはのちて  
つとめたりはへあひ  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶  
つとめたりと絶

① 依豆の大橋へみがる大い  
あふくをあり且し我  
年とせりてかの  
東はをうけてこれ  
和ん





伊予の海軍  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は

伊予の海軍  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は  
伊予の海軍は



養由基  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦

養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦  
養由基の戦

源頼義

信和源氏の正室甲斐守  
源の乳信頼の子ちんちん  
せうざん不任母せうれい  
まなれ冷泉院頼義の正室  
頼義の正室の御所のより  
頼義の正室の御所のより

その時より頼義  
修野世天林を  
とこと山八幡を  
をさねんてくえる  
松ののこのわたりを  
つぎの久保をもち冷泉院  
長下川の隅をもちひりか  
より長川つひふより時を  
い下のちゆうてをもち  
まらう二年ちゆうて法  
と野しる年八十の末も



漢武師

漢の世の臣下武師と  
公武師の勢をうつし  
夷賊をうつし  
漢の世の臣下武師と  
公武師の勢をうつし  
夷賊をうつし



今小の  
武師  
世  
人





漢の蘇軾の母

蘇軾の母の事... 蘇軾の母の事... 蘇軾の母の事...

蘇軾の母の事... 蘇軾の母の事... 蘇軾の母の事...



蘇軾の母の事... 蘇軾の母の事... 蘇軾の母の事...

水江の浦島子

浦島子の事... 浦島子の事... 浦島子の事...

浦島子の事... 浦島子の事... 浦島子の事...

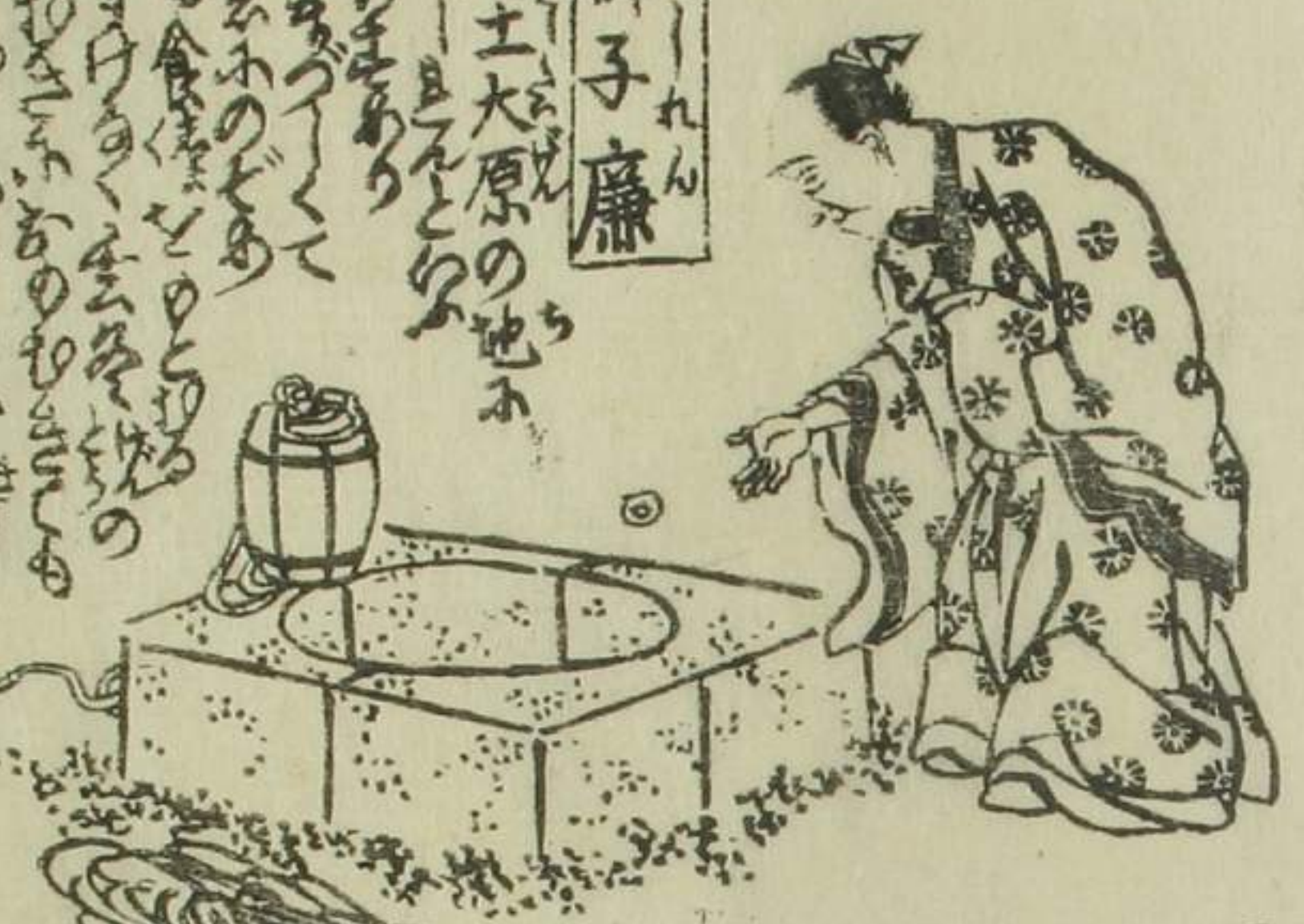
浦島子の事... 浦島子の事... 浦島子の事...



浦島子の事... 浦島子の事... 浦島子の事...



赤子廉  
 唐土大原の地  
 かくしんんと  
 かのまあり  
 取まつて  
 らるものども  
 なる食を  
 たすけらるる  
 こころを  
 家ありと  
 むかひと  
 其けつら  
 せりてり  
 いかうけ  
 由てゆ



井のうちあり  
 踏せると  
 つかさど  
 ぬきを  
 ぬきを  
 ぬきを  
 ぬきを  
 ぬきを



青砥左門尉藤綱  
 北でう  
 よりの  
 美  
 らの  
 美



清  
 なる  
 この  
 ある  
 滑川  
 のせ

その  
 のま  
 のと  
 こころ  
 あと

今つら  
 世の  
 天  
 その  
 天  
 その  
 天  
 その

後の名を...  
 連語と...  
 大...  
 七...  
 徳...  
 一...  
 五...  
 六...  
 八...  
 九...  
 十...  
 十一...  
 十二...  
 十三...  
 十四...  
 十五...  
 十六...  
 十七...  
 十八...  
 十九...  
 二十...



池田尚書智深  
 溜及怪鬼府の提督...

武藏坊弁慶  
 天海見...  
 山...  
 九...  
 十...  
 十一...  
 十二...  
 十三...  
 十四...  
 十五...  
 十六...  
 十七...  
 十八...  
 十九...  
 二十...

山あらのまや... 野郎  
 野郎師甚吾郎  
 山あらのまや... 野郎  
 野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎



野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎

野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎



野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎  
 野郎師甚吾郎



信州東山堂看板之略圖

此の看板は、信州東山堂の御用薬所にて、  
 諸國に御用薬所を御座り、  
 御用薬所 本店 信列上由海野所 松原傳八郎  
 同店 信列松巻津本町 寺島松屋傳十郎  
 京都新町 基師下 和久屋孫三郎  
 江戸本町 四丁目 日野屋孫太郎  
 大塚筋 博愛堂 近江屋 佐兵衛  
 他國分町 菅野屋 喜兵衛  
 土崎 酒田 伊豆 新屋 東兵衛  
 松江 白河 天神町 新屋 市郎  
 樽多 宗丹町 新屋 市郎  
 津山 京町 新屋 市郎  
 高松 山崎町 新屋 市郎



美圖垣笑顔作

一勇齋國芳画

此の看板は、信州東山堂の御用薬所にて、  
 諸國に御用薬所を御座り、  
 御用薬所 本店 信列上由海野所 松原傳八郎  
 同店 信列松巻津本町 寺島松屋傳十郎  
 京都新町 基師下 和久屋孫三郎  
 江戸本町 四丁目 日野屋孫太郎  
 大塚筋 博愛堂 近江屋 佐兵衛  
 他國分町 菅野屋 喜兵衛  
 土崎 酒田 伊豆 新屋 東兵衛  
 松江 白河 天神町 新屋 市郎  
 樽多 宗丹町 新屋 市郎  
 津山 京町 新屋 市郎  
 高松 山崎町 新屋 市郎

吾朝あてもまきうきの画を  
 ちんと添へ五月のちりやゆ  
 いまがごとく図せり  
 まる代のありがたを  
 の日のつれづれを  
 けふのつれづれを

悪魔がうづの  
 像をかきむ  
 呉道子  
 像をかきむ

美圖垣笑顔作  
 黒油  
 坂本氏



